

令和8年3月6日

## 令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	台東区立千束幼稚園
所在地	台東区浅草4-24-15

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

浅草という地域ということもあり、お囃子や和太鼓演奏などを耳にする機会が多い。  
地域に和太鼓奏者がいるので、身近な方に教えていただき、和太鼓の音色や音の響き、身体でリズムを感じる楽しさを味わう活動を実施する。  
地域協力者の協力により生の演奏（コンサート）を開催し、楽器の音や演奏の楽しさを感じるきっかけ作りをする。

### 2. 活動スケジュール

- ・音（和楽器）に親しむきっかけとして、地域の和太鼓演奏者に来園してもらい、和太鼓コンサートと和太鼓体験。
- ・運動会で和太鼓の動きをモチーフにした踊りを踊る。
- ・子供たちの取り組みとして和太鼓の演奏をこども劇場で披露。
- ・地域の演奏家を招き、コンサートを開催。
- ・園内にある楽器を使って、音源に合わせて自分たちで演奏方法考えて演奏する。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

自分で好きな時に音源をかけて楽器遊びができる音環境。  
学年によって使える楽器を分けて取り組ませる。  
自由に楽器を選んで鳴らすことができる配置と数の調整。

#### 4. 探究活動の実績

##### <活動の内容>

・和太鼓演奏者の生の演奏を見聞きすることで、自分もやってみたいと思える機会となり、楽しんで和太鼓体験を行った。曲に合わせて叩くことをしたことで、音が合うと嬉しいや気持ちがいいという感覚を覚える。音を聞いて合わせることを繰り返し取り組んだことで、11月のこども劇場のプログラムに取り入れお客様に発表を行った。

・和太鼓演奏の経験を活かし小学生と一緒に、打楽器を使い、歌詞に合わせて叩くことでリズムを感じて演奏を楽しんでいた。それをきっかけに自分たちでいろいろな曲に合わせて叩いてみたい、いろいろな楽器をつかってみたいという気持ちになり、曲の印象によって楽器を選んで使い分ける姿があった。その経験を活かして、未就園児の会やお楽しみ会で自分たちの取り組みの様子を発表した。

##### <活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

・和太鼓演奏で、始めは好きなように叩いていたが、友達と一緒に叩いているうちに音が揃うことの気持ちよさに気づき、自分たちで「いくよ」と声を掛けて揃えてたたきたいという気持ちが出てくるようになった。そのことを教師が言葉にすると、一緒にやろうと友達を誘って一緒に行う姿がみられるようになった。

・和太鼓演奏を見て、自分もやってみたいと思った幼児が、空き箱に丸い紙貼り合わせて太鼓を作って叩いて遊ぶ姿があった。その後も、音になる素材を探したり、いろいろな楽器作りに挑戦する姿があった。

##### <活動の様子>



#### 5. 振り返り

（振り返りによって得た保育者の気づき）

- ・子供たちを音にどのように出会わせるのかについて考えながら、教師自身も試行錯誤したようにおも  
う。継続して取り組みたいと感じる環境と機会を設けることが大切であると考えたが、入り口となるき  
っかけや園内だけでは取り組むことが難しいこともあったので、外部講師や小学生の力も借りて進め  
ていけたことは、子供たちにとって新しい刺激となった。
- ・こども劇場や未就園児の会など見てもらえる、発表できる機会を設けたことも、子供たちのやる気に  
つながったように感じる。

以上